

若年層を対象とした活動を推進しています

敦賀事業本部では小中学生の理科・科学に関する興味拡大に寄与することを目的として、学校や児童クラブ等での活動を展開しているほか、科学実験工作イベントや、地域イベントへの出展を行っています。

これらの活動では、子供たちが理科・科学についての体験や発見を重視し、科学実験や工作を通じ、「不思議だな」、「調べてみたいな」と実際に感じてもらえるように努めています。今回はその活動の一部をご紹介します。

学校や児童クラブ等での活動についてのご相談は、下部のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。

【学校や児童クラブ等での活動】

日時：8月23日

対象：第2咸新児童クラブ

内容：エネルギー及び放射線についての講話
紫外線感知ビーズを使った工作



紫外線感知ビーズを使って作ったストラップ



【科学実験工作イベント】

日時：8月6日

対象：敦賀市内の児童

内容：科学実験ショー
工作体験
「必ず戻ってくるブーメラン」
「かさ袋口ケット」

原子力機構
夏休み科学実験・工作イベント

日時：令和元年8月6日(月)
1回目：10時30分～12時
2回目：14時～15時30分

場所：アクアトム3階 ホール、交流室
〒914-0063 敦賀市神楽2丁目2-4

内容：科学実験ショー
液体窒素 マイナス196℃の世界を体験しよう
シンボロ空飛船 どんもふに飛んでいくかな？
工作体験
必ず戻ってくるブーメランを作ろう
かさ袋口ケットを飛ばそう

対象：小学校4年生以上
小学校低学年の子供も体験
保護者同伴でお願いします

定員：当日先着 50名様/各回

お友達と一緒に来てね！

主催：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
協賛：敦賀市教育委員会
後援：敦賀事業本部 地域共生活動 地域共生活動
お問合せ：敦賀事業本部 地域共生活動 TEL 0770-21-5026, FAX 0770-21-2045



イベント当日の様子

【地域イベントへの出展】

日時：5月19日

出展：「親子のフェスティバル」

内容：パネル展示
体表面測定車展示
簡易放射線測定器を使った
自然放射線の測定体験



発行：令和元年10月

● 本資料に関するお問合せ先 ●

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 地域共生部 広報課
〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20 【TEL】0770-21-5023 【FAX】0770-21-2045
原子力機構ホームページ：<https://www.jaea.go.jp> 敦賀事業本部ホームページ：<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/>

JAEA 原子力機構 敦賀事業本部からのお知らせ

地域の皆さまへ

9月17日より開始した「燃料体の取出し作業」のうち、原子炉容器から炉外にあるナトリウム中に貯蔵する設備（炉外燃料貯蔵槽）に100体の燃料体を移送する作業を、計画通り10月11日に完了しました。

「燃料体の取出し作業」は、2010年以来9年ぶりの作業となることから、使用する機器について慎重に検査を行い、施設定期検査を受検し国による確認を受けたほか、昨年度発生した不具合への対策や、操作員の習熟度を高めるための模擬訓練を行ってまいりました。また、従事する操作員に自ら学ぶ姿勢を持たせることによって意識を向上させ、作業に対するモチベーションを高め、原子力機構職員のみならずメーカーの技術者も含めた「もんじゅ」が一丸となったバックアップ体制を構築するなど、事前準備を入念に進めてまいりました。



荒井 眞伸
高速増殖原型炉もんじゅ
所長

作業は「何かおかしい」と思えば直ぐに立ち止まるという意識のもと、機器の動作状況などを注意深く確認しながら慎重に進めました。大きなトラブルなどは無く作業は順調に進み、10月3日から日勤による1日1班体制から、1日2班体制による24時間態勢の交替勤務に移行し、100体の燃料体の移送を完了することが出来ました。

引き続き、燃料体の取出しで使用した機器の片付けやメンテナンスなどを行います。全体作業終了後、昨年度行った燃料体を炉外燃料貯蔵槽から取り出して洗浄した上で燃料池に移す、「燃料体の処理作業」を開始する計画です。

「もんじゅ」では、今回の燃料体の取出し作業で得られた経験を一つ一つ積み重ね、知見を引き継ぎながら、安全を最優先に、着実に廃止措置を進めてまいりますので、地域の皆様におかれましてはご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



作業を開始する操作員(9月17日)



作業開始前の所長訓示(9月17日)

燃料体の取出し作業を実施して

令和元年10月11日、100体の燃料体の取出し作業を完了しました

廃止措置の第1段階として、2018年8月より燃料体取出し作業を開始し、2022年度までに原子炉容器等の全ての燃料体（530体）を燃料池へ移送する計画です。今回の原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽へ移送する作業は9年ぶりとなることから、原子力機構、メーカーなどが一丸となって準備を行い、慎重に作業を進め、計画通り100体の燃料体の移送を完了しました。

作業の実施に当たり、児玉理事長から訓示がありました

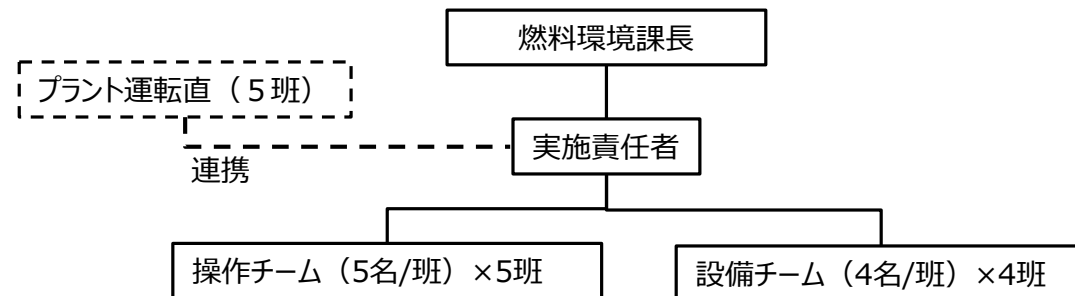


今一度、気を引き締めて、手順や現場の状態を確認し、細心の注意を払って作業を進めてください。私自身、これからも定期的はこちらに赴き、現場を確認し、皆さんと共に、安全・着実に「もんじゅ」の廃止措置作業に取り組む決意であります。「もんじゅ」で働く者としての誇りと自信を持って、2022年度の燃料体取出し作業の完了という目標に向けて、邁進していきましょう。（9月13日、もんじゅ構内にて）

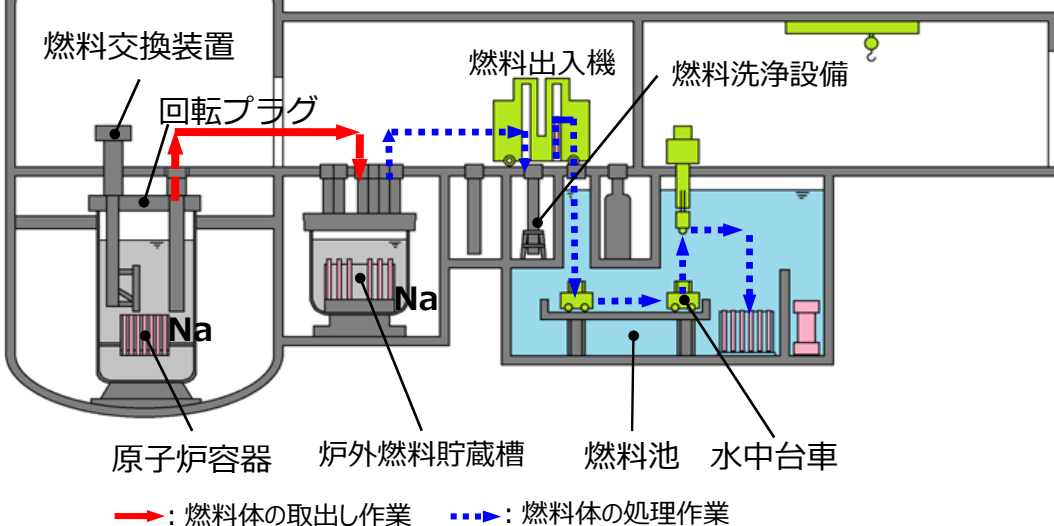
2022年度の燃料体取出し作業の完了に向けて

原子炉容器等に装荷・貯蔵されている全ての燃料体（530体）を燃料池へ移送するには、昨年度実施した燃料体の処理作業と今回実施した燃料体の取出し作業を交互に行います。今回の燃料体の取出し作業では、燃料体の処理作業と同様に、実施責任者の下、燃料取扱設備の操作を担当する「操作チーム」と運転操作を設備面から支援する「設備チーム」とで、運転と保守とを一体化した作業体制を構築しました。100体の燃料体の取出し作業を通じ、操作員は設備の操作に習熟するなど貴重な経験を積みました。今回の経験や得られた知見を共有し、引継ぎながら、次に行う燃料体の処理作業に向けた設備の点検や検査を一つ一つ確実にを行い、準備を進めてまいります。

作業体制図



燃料体取出し作業



燃料体の装荷及び貯蔵状況

	取出し開始時	2018年 8月30日 ～2019年 1月28日	昨年度 作業 終了時	2019年 9月17日 ～10月11日	今回の作 業終了時	2022年度 取出し 完了時
原子炉容器	370体	炉外燃料 貯蔵槽から 燃料池に 86体移送	370体	原子炉容器 から炉外燃料 貯蔵槽に 100体移送	270体	0体
炉外燃料貯蔵槽	160体		74体		174体	0体
燃料池	0体		86体		86体	530体

注) 燃料池には上記表のほか、過去に取出した2体を貯蔵しています

廃止措置にあたっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆様のご理解を得つつ、着実に実施してまいります。